

MITSUBISHI

三菱冷蔵庫冷却システム クールマルチクォリティコントローラ用

R404A専用

取扱説明書

このたびは
三菱電機クールマルチを
お買い求めいただきまして
誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

取扱説明書は大切に保管してください。

そのあと、お使いになる方が必要なときお読みください。



- お客様ご自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

もくじ

ページ

1. お使いになる前に	
・安全のために必ず守ること	2
・使用上のお願い	3
2. 各部の名称とはたらき	
1.	5
2.	6
3. 使用方法	7
4. 上手な使いかた	8
5. お手入れ	8
6. 故障かな?と思ったら	9
7. 保安上必要な事項の記載	12
8. 保証とアフターサービス	13
9. 警報装置の設置のおすすめ	15

安全のために必ず守ること







 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

“図記号”の意味は次のとおりです。



電気配線工事は「第二種電気工事士」の資格のある者が行うこと。
 気密試験は「冷凍装置検査員」の資格のある者が行うこと。

警告

<p>据付工事は、据付工事説明書に従って販売店または専門業者が行うこと。</p> <p>不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>	<p>空気の吹出口・吸込口に指や棒を入れないこと。</p> <p>内部でファンが回転している。けがのおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 回転物注意</p>
<p>移設する場合、販売店または専門業者に依頼すること。</p> <p>不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>	<p>異常時は運転を停止して、主電源を切ること。</p> <p>異常のまま運転を続けると感電・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>
<p>分解・修理・改造をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。</p> <p>不備がある場合、けが・冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>	<p>揮発性、引火性のあるものを冷蔵庫内に入れないこと。</p> <p>爆発・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 使用禁止</p>
<p>D種接地工事（アース工事）は第二種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。</p> <p>アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。 アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤動作・感電・発煙・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> アース接続</p>	<p>水をかけないこと。</p> <p>ショート・感電のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 水ぬれ禁止</p>
<p>電気工事は、第二種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って施工し、電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。</p> <p>電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>	<p>水のかかるおそれのあるところには据付けないこと。</p> <p>発火・感電のおそれあり。 (屋外設置形は除く。)</p> <p style="text-align: right;"> 水ぬれ禁止</p>
<p>ユニットの質量に耐えられるところに据付けのこと。</p> <p>強度不足や取付けに不備がある場合、ユニットの転倒・落下のおそれあり。</p> <p style="text-align: right;"> 指示を実行</p>	

⚠ 注意

掃除・整備・点検のときは、運転を停止して、主電源を切ること。

ゝ 感電・けがのおそれあり。



指示を実行

ユニットの近くで可燃性スプレーを使用しないこと。また、可燃物を置かないこと。

ゝ 発火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチを操作しないこと。

ゝ 火災・感電のおそれあり。



ぬれ手禁止

ユニットの上に乗らないこと。物を載せないこと。

ゝ 落下・転倒・けがのおそれあり。



使用禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

ゝ 流れる冷媒の状態により、低温または高温になっているため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

ユニットに手を触れないこと。

(ユニットクーラ)

ゝ 霜取ヒータに触れると火傷のおそれあり。



接触禁止

1. お使いになる前に

使用上のお願い

設置状態を確認すること。

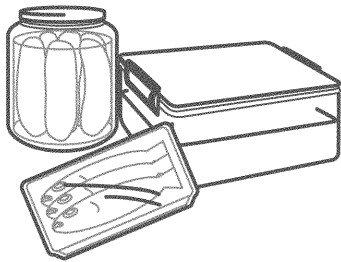
- リモコンの温度センサは庫内温度を検知する適切な位置にあるか確認してください。

長時間使用しない時は、主電源を切ること。

- 安全のため電源を切ってください。

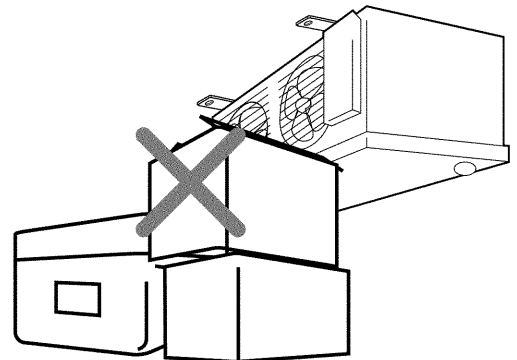
腐食性雰囲気になるものを保存しないこと。

- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。また、腐敗物があると、アンモニアなどの腐食性ガスが発生します。腐敗物を放置しないでください。密閉されていない場合や腐食性ガスがある場合、ユニットクーラが腐食し故障するおそれあり。



吹出口・吸込口をふさがないこと。

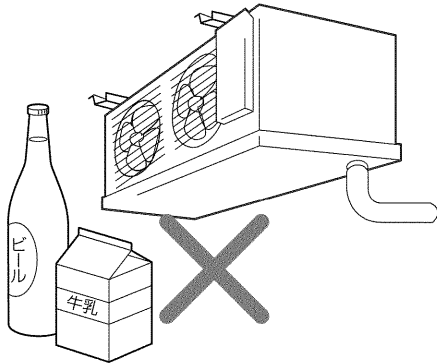
- ユニットクーラ・コンデンシングユニットとも風の流れをさまたげると冷却効果が低下します。吹出口や吸込口をふさがないでください。



冷氣吹出口の近くに液体を置かないこと。

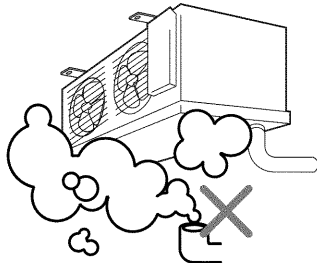
(冷蔵用AFL形ユニットの場合)

- 冷えずいで凍ることがあります。



加湿器を冷氣吸込口の近くに置かないこと。

- 加湿器を設ける場合、加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。また湿度は90%RH以下で使用してください。蒸気を直接吸い込んだり、湿度が高い条件で使用しますと送風機が故障するおそれがあります。



なお、加湿器を使用する場合は、霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。

凍結の目的では使用しないこと。

(冷凍用AFR形ユニットの場合)

- 冷凍用ユニットは凍結された商品を保存するために使用してください。

運転スイッチを3分以内で繰り返し操作しないこと。

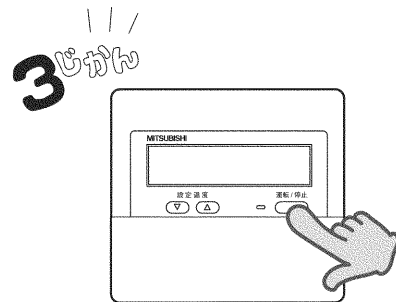
- 圧縮機に無理がかかり、故障するおそれあり。
- 運転スイッチを3分以内で操作した場合、圧縮機は運転しません。3分間経過するまでお待ちください。

長時間停止する場合、停止時操作弁を閉じること。(方法は工事店にお尋ねください。)



長時間停止した場合、ユニット運転は主電源を入れた後、3時間経過してからリモコンの運転/停止ボタンを入れること。

- 半日以上停止した後、再び運転する場合は主電源を入れて少なくとも3時間経過後リモコンの運転/停止ボタンを「入」にしてください。(圧縮機故障防止のため)



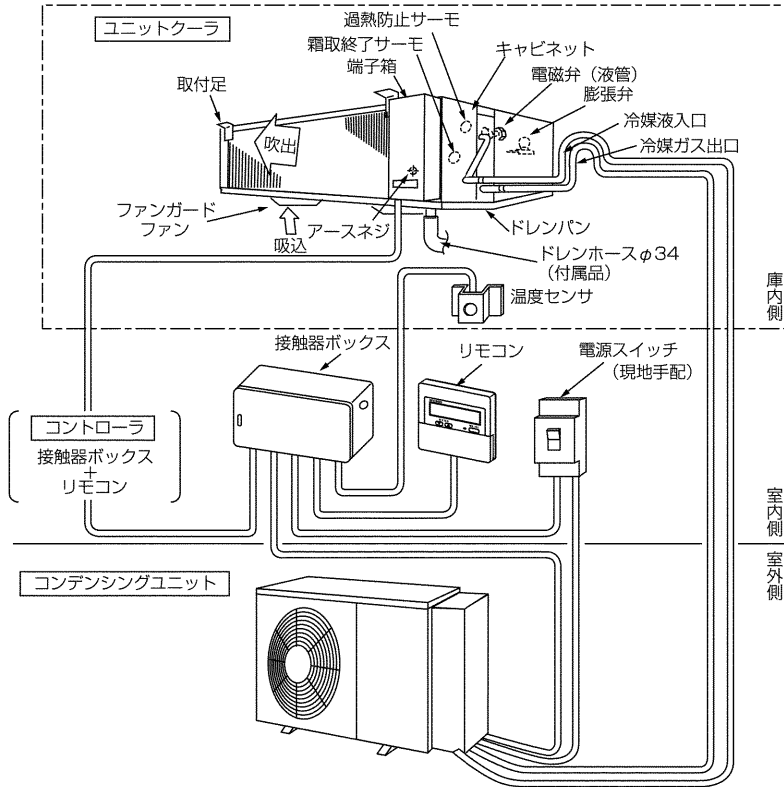
高級商品の冷蔵・冷凍用途などに使用する場合、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように必ず警報装置を設けること。

- ユニットには保護装置が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けています。警報装置の接続を販売店に依頼してください。

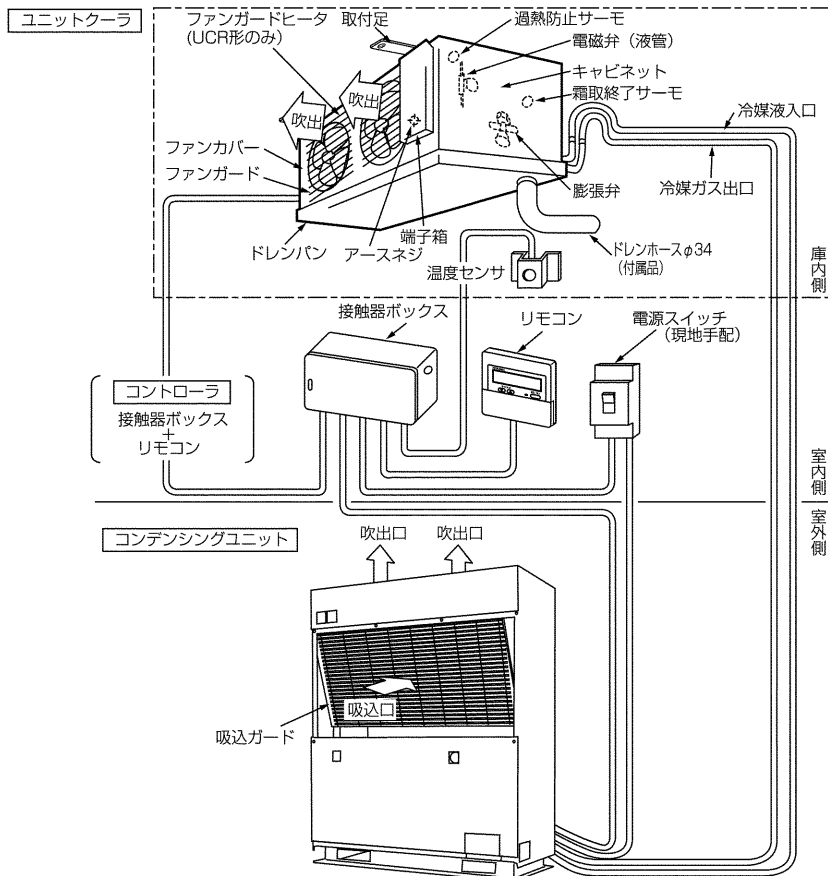
血液・ワクチン・医薬品など厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合、販売店にお問い合わせください。

2.各部の名称とはたらき1

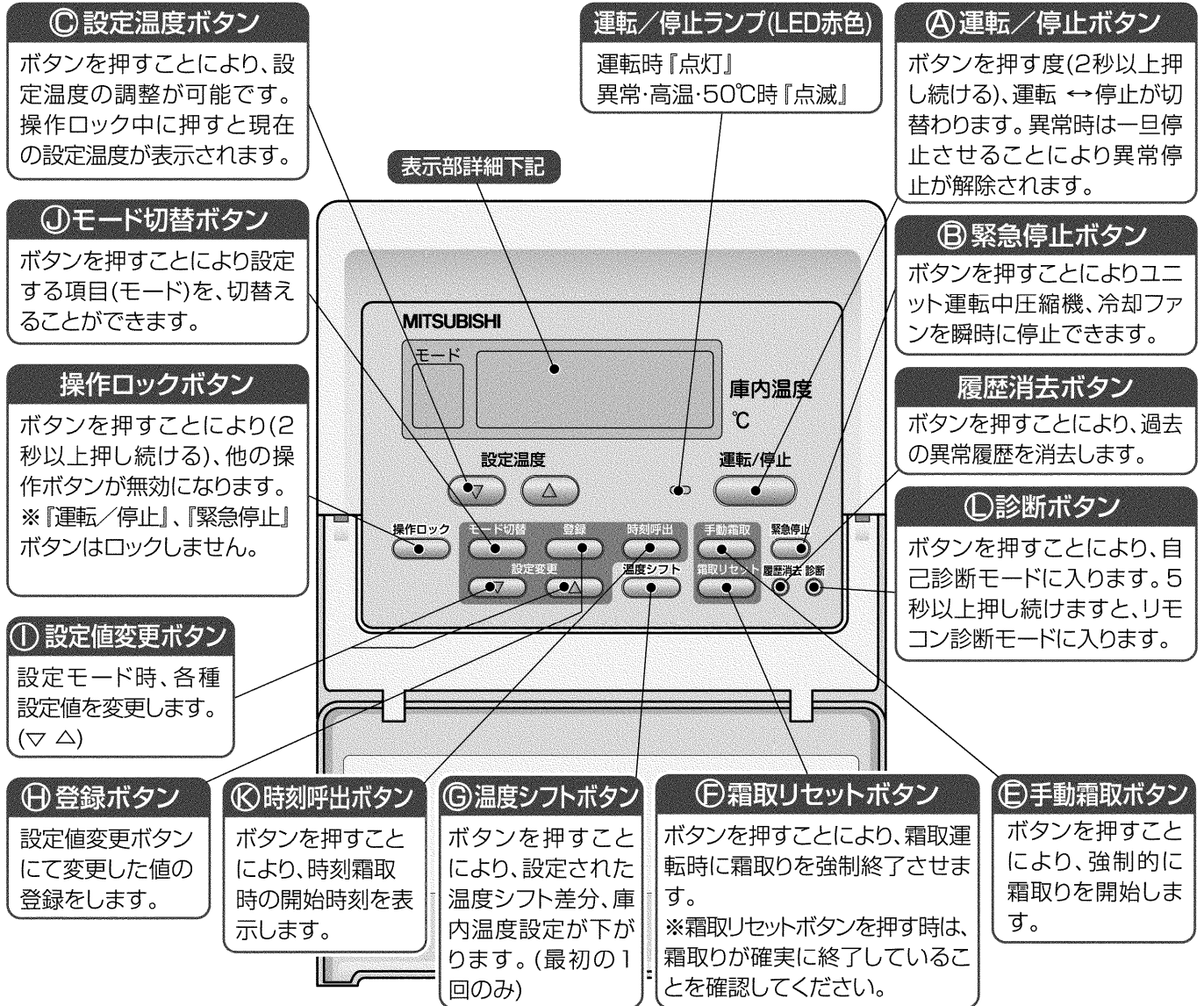
(1) AFH,L,R-RP*T(V)形



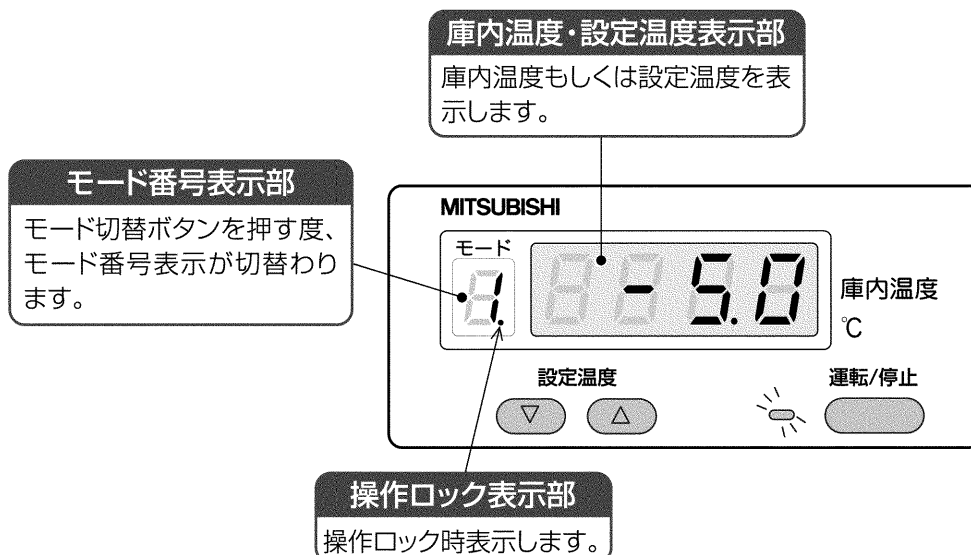
(2) AFH,L,R(V)-P*V形



2.各部の名称とはたらき2



モコン表示部説明



3.使用方法

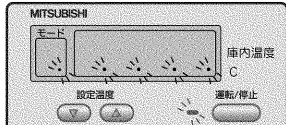
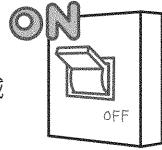
1.運転操作

冷却開始

1

主電源を入れる。

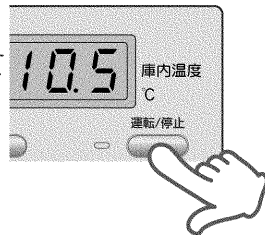
主電源を入れると約1分間リモコンが点滅表示し、その後庫内温度が表示されます。



2

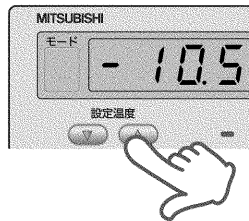
運転/停止 ボタン(A)を押してください。

(**運転/停止** ボタン(A)は誤作動防止のため2秒以上押し続けると動作します)



3

設定温度 ボタン(C)のどちらかを1回押すと、表示が『設定温度』に切り替わり、現在の設定温度を表示します。続けて**設定温度** ボタン(C)押しして設定したい温度に数値を合せます。



(メモ1)

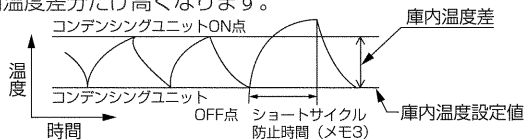
ボタン操作時、以下の表示をする場合、ユニットコントローラにて手元操作禁止の設定を行っています。お買い上げの販売店または専門業者へご相談ください。



(メモ2)

庫内温度設定と庫内温度差の関係

●庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度 (OFF: 切値) を示します。ユニットが運転する温度 (ON: 入値) は庫内温度差分だけ高くなります。



(メモ3)

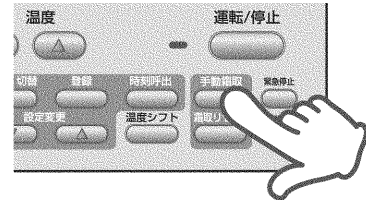
ショートサイクル防止機能が付いています。庫内温度差を小さくした場合でも冷蔵庫内の負荷の程度によっては、コンデンシングユニットON点を超えることがあります。

4

商品は庫内が適温になってから入れてください。(外気温や冷蔵庫によって適温になる時間は異なります。)

霜取

霜取は自動的に行います。“冷却運転”途中で霜取を行う場合は操作パネルを開け**手動霜取** ボタン(E)を押してください。商品はそのままでかまいません。なお霜取中は表示部に『dF』が表示されます。



(メモ1)

ヒータ霜取の場合冷却器ファンは霜取中停止します。

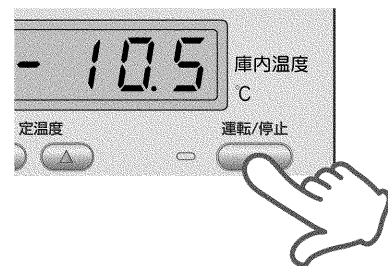
(メモ2)

霜取中 (『dF』表示中) は手動霜取を受け付けません。

停止

1

運転/停止 ボタン(A)を再度押してください。運転/停止ランプが消灯し、しばらくしてユニットは停止します。

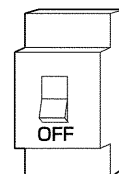


お願い

霜取中 (『dF』の表示中) は**運転/停止** ボタン(A)を押さないでください。

2

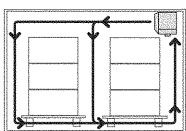
長期間停止する場合は主電源を切ってください。



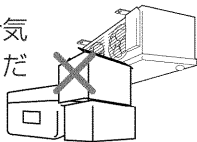
4. 上手な使いかた

冷気の循環をよくする

- 商品は、隙間を空けて積んでください。床にすのこなどを敷くとさらに効果的です。

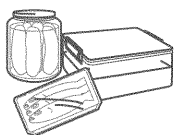


- ユニットクーラの冷氣吸込口や冷氣吹出口の前に商品を置かないでください。



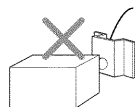
食品は密閉する

- 食品は密閉容器に入れるか、ラップフィルムで包んでください。他の食品のにおいが移らず、乾燥も防げます。



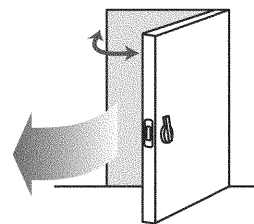
温度センサの周囲には商品を置かない

- 温度センサの前に商品を置くと、適切な庫内温度を検知できません。



扉の開閉はできるだけ少なくする

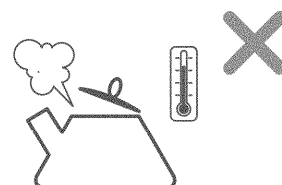
- 商品の出し入れは回数を少なく、短時間に行ってください。扉を開けたままにしておくと、暖かい空気が庫内に入り冷えが悪くなります。



- 多量の商品の出し入れなど長時間扉を開けたままにする場合は、運転/停止ボタンを「切」にしてください。ユニットクーラの霜付きを防げます。

熱いものは冷ましてから入れる

- 熱いまま入ると庫内の温度が上がり、他の商品に悪い影響をあたえます。



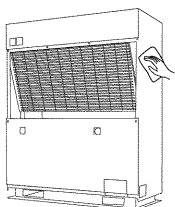
5. お手入れ

- 安全のため、お手入れの前にならず主電源を切ってください。
- 端子箱やファンモータには、絶対に水をかけないでください。故障（特に漏電）のおそれあり。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

コンデンシングユニット

■ キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭き取ってください。



■ 放熱器

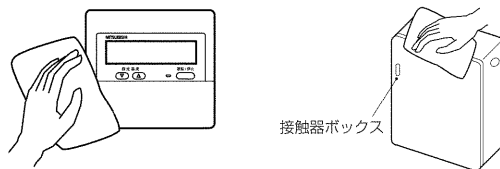
- 放熱器が汚れますと熱交換が悪くなり、冷却能力が低下しますので定期的な洗浄が必要です。洗浄の際は、販売店にご相談願います。



リモコン・接触器ボックス

■ キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

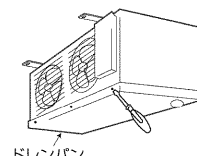


接触器ボックス

ユニットクーラ

■ ドレンパン

- ドレンパンの開けかた——ドレンパン固定ネジを外してください。
- 清掃のしかた——布で内側の汚れをふきとってください。



ドレンパン

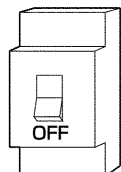
6. 故障かな？と思ったら

- サービスをお申しつけの前に以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず主電源を切ってから、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)にご連絡ください。

1. まったく運転しない

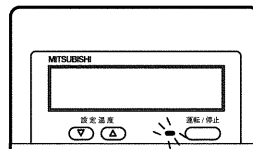
主電源・ブレーカが切れていませんか

完全に入っていますか。もう一度入れなおしてみてください。



運転/停止ボタンが切になっていませんか

リモコンの運転/停止ボタンを再び「入」にしてください。



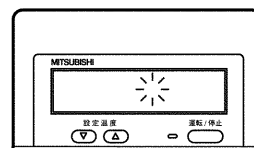
運転/停止ランプが発光していることを確認してください。

停電していませんか

復電後自動復帰します。

庫内温度設定値が高くなっていませんか

設定値を見直してください。



ショートサイクル停止中ではありませんか

ひんぱんな発停を防ぐためコンデンシングユニットが停止すると約3分間は再起動しません。約3分間おまちください。(運転スイッチをいったん「切」にし、再運転する場合も約3分間再起動しません。)



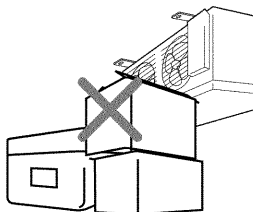
2. 温度表示部が [E0]、[E1] を表示したとき

[E0] 冷却中のコンデンシングユニット異常 (保護装置作動)

[E1] 霜取中のコンデンシングユニット異常 (保護装置作動)

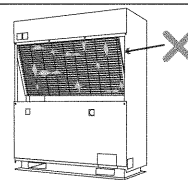
風通しが悪くなっていませんか

ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。



処置 障害物を取除いてください。

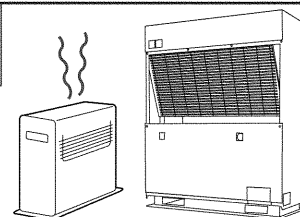
放熱器にゴミが付着していませんか



処置 放熱器を掃除してください。「お手入れ」の項をお読みください。

発熱物がコンデンシングユニットの近くにありませんか

処置 発熱物を取除いてください。



● リセット方法

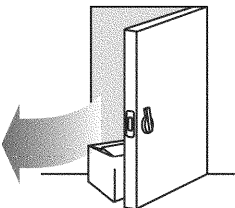
原因を取除いてから運転を開始してください。リモコンの運転/停止ボタンをいったん切り、再び入れると運転を再開することができます。

3.よく冷えない、または温度表示部が **HC** を表示したとき

HC 高温警報

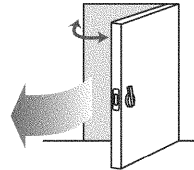
扉が開いていませんか

異物などがはさまって隙間があいていませんか。



処置 扉をしっかり閉めてください。

扉の開閉の回数が多くありませんか



処置 開閉の回数を減らしてください。

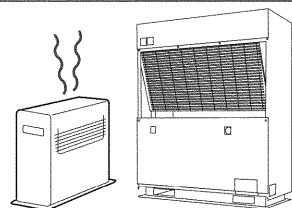
商品の温度が高すぎませんか

お湯、お茶などが高温状態で入っていませんか。



処置 熱いものは冷ましてから入れてください。

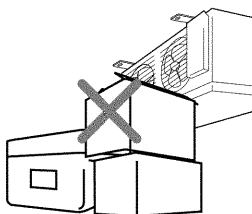
発熱物がコンデンシングユニットの近くにありませんか



処置 発熱物を取除いてください。

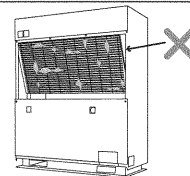
風通しが悪くなっていませんか

ユニットクーラやコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。



処置 障害物を取除いてください。

放熱器にゴミが付着していませんか



処置 放熱器を掃除してください。「お手入れ」の項をお読みください。

●該当しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。

● **HC** 表示のリセット方法

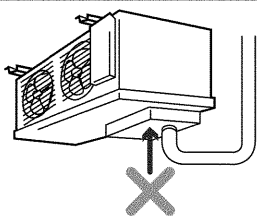
リモコンの運転/停止ボタンをいったん切り、再び入れるとリセットできます。

ただし、庫内温度が低下していないと再度表示します。

4.温度表示部が **OF** を表示したとき

OF ドレン水オーバーフロ異常

ドレンポンプが故障していませんか



処置 ドレンポンプの故障を確認してください。

5. 温度表示部が **dF** を表示したとき

霜取中であり、故障ではありません。霜取終了後一定時間が経過してから、庫内温度を表示します。

6. 温度表示部が **HO**、**LO** を表示したとき

HO 温度センサ短絡

LO 温度センサ断線

処置 温度センサの故障です。

お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。

7. 温度表示部が **HH** を表示したとき

庫内温度が50℃以上になっているためユニットを停止します。庫内に発熱物が無いか確認してください。該当しない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。

8. 温度表示部が **LH** を表示したとき

設定温度以下になってもユニットが運転しています。お買い上げの販売店または、最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)までご連絡ください。

次の場合は故障ではありません

風が横に吹いている(ユニットクーラ)

ユニットクーラへの霜の付着量が増えてきますと、冷風が横に吹いたり、羽根の回転が目視で確認できるくらい遅くなります。これは霜付が多すぎるために起こりますので、霜取運転の間隔を見直してください。

音がする(ユニットクーラ)

ユニットクーラを目詰まり状態で使用されますとパネルなどからビビリ音が出ることがあります。これは、目詰まりによって送風機に静圧がかかったことによるものですので、霜取運転の間隔を見直してください。

LH表示(リモコン)

万一の電磁弁(液管)の不具合を考慮して、設定温度から3℃低下した状態を1分以上継続するか、設定温度以下の状態を10分以上継続した後さらに温度が低下する場合、リモコンは**LH**(庫内温度低下警報)を表示します。ただし外気条件(設定温度より外気温度が低いなど)によっては異常でなくても**LH**表示がでる場合があります。このような場合、表示が出ないように設定できますので販売店にご相談ください。

表示のちらつき(リモコン)

冷蔵庫の扉の開け閉めの際、静電気によりリモコンの表示がちらつくことがあります。

7. 保安上必要な事項の記載

以下高圧ガス保安協会自主基準〈冷凍装置の施設基準（KHKS0010）〉に基づき記載します。

- (1) 機器製造者（設備工事業者）の名称・所在地・電話番号〈最終ページ〉に記載
- (2) 担当サービス会社の名称・所在地・電話番号〈最終ページ〉に記載
- (3) 使用冷媒の名称 R404A、充てん量：コンデンシングユニットに記載
- (4) 運転および停止の方法

始動準備

- ①送風機に異物が詰まったり、通風を妨げるものがないか、およびその他に異常がないか点検すること
- ②その他は、「3.使用方法」の項を参照

始動の操作と始動直後のチェック

- ①始動は、「3.使用方法」の項を参照
- ②始動直後ユニットの異常振動・異常音の発生、および保護装置が作動しないかチェックのこと

運転操作

- ①運転は、「3.使用方法」の項を参照

停止操作

- ①運転停止は、「3.使用方法」の項を参照
- ②異常時の緊急停止は手元開閉器により電源を切ること
場合によっては、リモコンの停止スイッチを切ってもよい

(5) 保守の要点

- ①安全装置、警報装置の点検、保守、記録は、「5.お手入れ」の項、「6.故障かな?と思ったら」の項を参照
- ②動力装置の点検、電気設備の点検は、「5.お手入れ」の項、「6.故障かな?と思ったら」の項を参照
- ③長期運転停止上の注意
ユニット運転は主電源を入れた後、3時間経過してからリモコンの運転/停止ボタンを入れる

(6) 故障の原因と対策

- ①「6.故障かな?と思ったら」の項を参照

(7) 定期点検、記録、整備

- ①「5.お手入れ」の項を参照

(8) その他保安上必要な事項

- ①高圧ガス保安法および関係基準に基き設備を運転すること

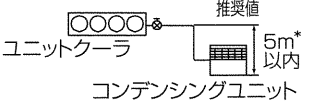
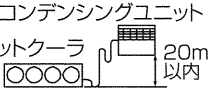
8. 保証とアフターサービス

(1) 無償保証期間および範囲

無償保証期間は据付け当日を含め1年間です。無償にて支給するのは故障した部品、または当社が交換を認めたユニットに限ります。(ただし「(2) 保証できない範囲」項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。)

(2) 保証できない範囲

(a) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

項目	使用範囲		
据付条件	コンデンシングユニット 屋外設置	ユニットクーラ 冷蔵庫内設置	リモコンおよび接触器ボックス 屋内設置(冷蔵庫外壁面等)
本体と冷却器との高低差	 推奨値 5m* 以内 コンデンシングユニット		コンデンシングユニット ユニットクーラ  20m* 以内
周囲温度	コンデンシングユニット凝縮器吸込空気温度 -5~+40℃(43℃)		リモコンおよび接触器ボックス -10~+40℃(ただし凍結・結露等なきこと)
庫内温度	AFHシリーズ +3~+15℃	AFLシリーズ -5~+15℃	AFRシリーズ -30~-5℃ (AFR-Rシリーズは-25~-5℃)
庫内湿度	90%RH以下		
電源電圧	三相200V 50/60Hz 運転中の電圧 180~220V 始動時の最低電圧 180V以上 相間電圧不平衡率 2%(4V)以内		
冷媒配管長さ	30m以下 (AFH-R・AFL-R・AFR-Rシリーズ 20m以下)		
系統数	最大3系統、最小負荷 30%(容量制御運転が可能でコンデンシングユニットの場合は4系統、25%)		
ユニットクーラ	台数:特に制限なし、総容量:圧縮機容量の80~200%		
庫内温度差	系統間の庫内温度差は5K以内		
霜取制御	同室複数ユニットクーラの場合は同時霜取とし、多室複数ユニットクーラの場合は系統間の霜取タイミングをずらすよう、霜取タイマを設定してください。		
センサのリード線長さ	30m以下		
リモコンケーブル長さ	250m以下		

(b) 機種選定に不具合がある場合

冷却負荷に対し明らかに過大または過小の能力を持つユニットを選定し、故障にいたったと当社が判断した場合

(c) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

(d) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- 塩害
- 据付け場所不備による事故(風量不足、化学薬品等の特殊環境条件)
- メンテナンス不備(ガス漏れを気付かなかった場合)
- 現地配管工事による事故(口付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入)
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- 真空運転による空気、水分を吸い込んだと判断される場合
- アイスタックによる事故(真空引不十分)

(e) 天災、火災による事故

(f) 据付工事中に不都合がある場合

- 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(g) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

なお、ユニット本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害(冷却物、営業補償などの2次補償)の責については、ご容赦ください。当社代理店などと相談の上、損害保険で対処してください。

(代理店等と相談して損害保険に加入してください。)

(h) 修理・取扱いのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申しつけください。

転居や贈答品などでお買い上げの販売店にご依頼できない場合は、別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」で、

- 修理のお問い合わせは「修理窓口」へ
- その他のお問い合わせは「ご相談窓口」へ

- (i) 修理を依頼されるときは
「6.故障かな?と思ったら」にしたがってお調べください。
なお、不具合があるときは、主電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- (j) 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
料金などについては、販売店にご相談ください。
- (k) 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し主電源を切り、お買い求めの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。また、末永くご愛用頂くために、定期のお手入れ、点検等は販売店または三菱電機ビルテクノサービス(株)との保守契約をおすすめします。

ご連絡の場合は、つぎの4点をハッキリお示しください。

- 1.コンデンシングユニット形名(例:ERA-EP37A) _____
 - 2.ユニットクーラ形名(例:UCH-P5VNB) _____
 - 3.製造番号 _____
 - 4.故障内容(できるだけ具体的に)
 - 5.ご住所(付近の目印なども)
 - 6.お名前・電話番号・訪問希望日
- 定格銘板に記載してあります。

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

9. 警報装置の設置のすすめ

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。また高温警報の信号を出力する端子も設けていますので、温度管理が容易に対応できます。高級品の貯蔵、医薬品など厳重な温度管理を必要とする場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、警報装置の設置や設備上のご配慮（保護サーモ設置等）をお願いします。

■設備工事業者

■担当サービス会社

■ご不明な点に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター
0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)
FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

